

海の環境悪化について

前、テレビ番組で海にプラスチックが流されその流されたプラスチックを魚が食べてしまい、魚が死んでしまふという事を知った。なぜプラスチックは海に流されてしまふのだろうか。また、これ以上プラスチックを海に流さないように防ぐことは、できないのだろうか。

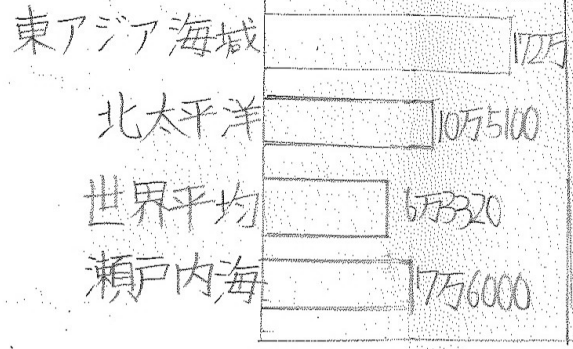
プラスチックが海に流されてしまふ原因はいろいろとある。一つ目は、あやまたはいき物の処理から。プラスチックごみの収集↓輸送↓処理この流れが一つでも機能しないと下水処理施設で処理されないマイクロプラスチックが海に出てしまい海を汚してしまふ。実際海洋面積1㎡あたりには浮遊するマイクロプラスチックの個数についてのグラフを見ると世界平均に大して多くの海が平均をつまわっている事がわかる。

この問題は、私達があやまたはいき物の処理をしてしまった結果だと思ふ。

プラスチックが海に流されてしまふ原因の一つ目は、ポイ捨てから。まず海岸などのポイ捨て

これは、食品の包装用、飲料ボトル、レジ袋、ストロー、プラ製テイクアウト食器など。また、タバコのポイ捨ても海の環境悪化につながる。海上からは漁業者が海に投棄するプラスチック製の網など。空のポイ捨てでは、スポーツのイベントで空にむか、て放たれた風船。その風船は、空で破れつして

海洋1km²あたりに浮遊する
マイクロプラスチックの浮遊個数



ばらばらになり、海に落ちてしまっ。

今のゴミの処理の仕方と海の豊かさは、
なる二方だ。だからその対策としてゴミの処理の
し方のかんばしや呼びかけはもちろん、CMや手
紙、ゴミの処理のし方の講座などみんなて努力し
ていくのが、海の豊かさを守る対策だと思っ。

確かにプラスチックは私達の生活する中でも
便利であるしかし、そのプラスチックで海の豊か
がなくなっていくのも確かだ。だから海の豊か
さをなくさないように、プラスチックの量に気をつ
けたり、プラスチックを減らすために呼びかけた
りすること、海の豊かさを守れるのではな
かと思っ。

出典 国谷裕子と和仁シシ未来のためのSDGsの地球に関するゴール